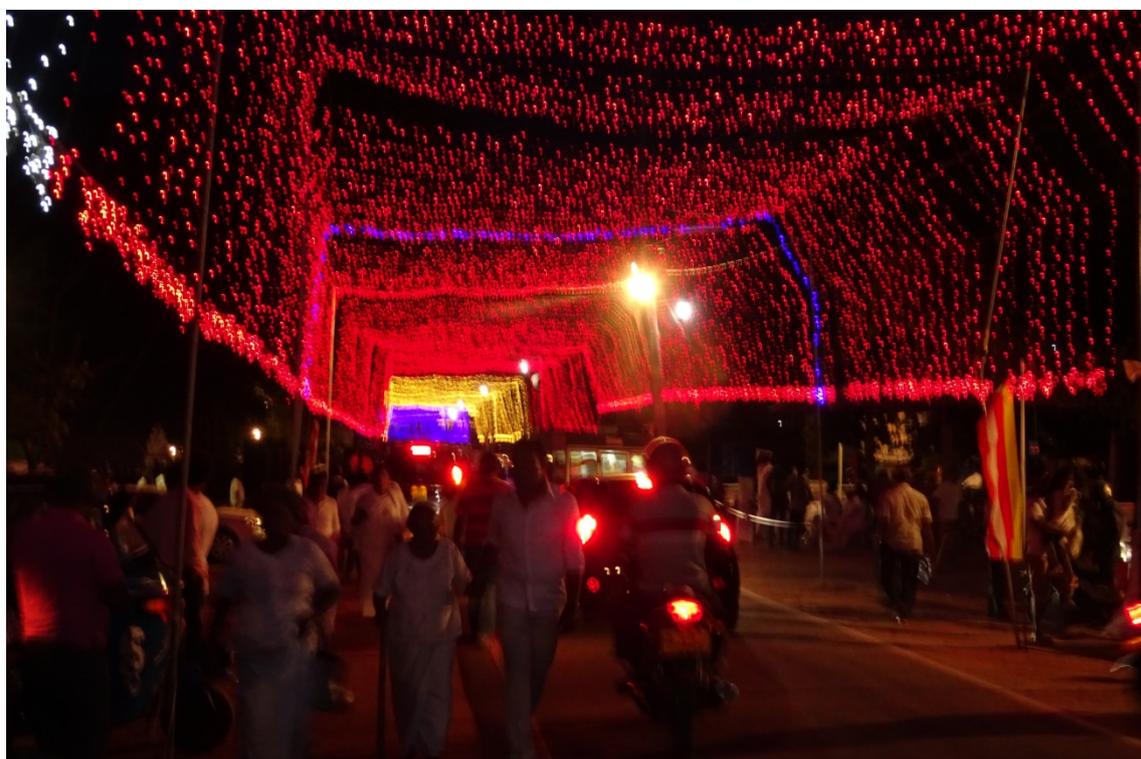


# 第8回スリランカ紀行



## 第 8 回スリランカ紀行

スリランカ渡航も今回で 8 回目。今回は妻洋子と一緒にいくことにした。  
滞在は妻が 1 週間、私は 2 週間と決めて今回は比較的短い現地滞在となった。

2018 年 8 月 13 日 (月)

福岡空港でチェックイン前に土砂降りの夕立。

福岡空港 21 時 05 分発大韓航空 KE780 便で出発。

今回はビジネスクラスなので、何もかもゆったりで贅沢この上なし。

費用は中国在住の娘が負担してくれることになったので、それに甘える。

韓国インチョン空港での乗り継ぎ時間は 1 時間弱。長い通路を歩いて、23 時 50 分発コロンボ行き KE473 便に乗る。

2018 年 8 月 14 日 (火) 曇り時々雨

ほぼ定刻午前 4 時 30 分ごろ、コロンボ到着。

免税店でワインを 2 本買う。この国では市内で酒を買うのが難しい。空港免税店で到着後を買っておくのがいつもの習慣になってしまった。1 本 15 ドル。

いつものように運転手スージーが迎えに来ている。

小雨がぱらつく中、キャンディの WDC 本部へ向かう途中、ストリングホッパーの朝食。

WDC のオフィスに到着。サシさんはコロンボに出張中で不在。ところが我々がこの日来ることをだれも聞いていない様子。

前回まで、組紐クラスのお世話をしていたシロミ先生は辞めたという。

コロンボにいるサシとアラガマのシェルターのコーディネータに電話するが、つながらない。

とにかく行けば何とかなるということで、WDC の本部を後にして、Sthree ショップへ行ってみることにした。

Sthree ショップでコーヒーを注文して、手芸品をいくつか購入する。

世界遺産ダリダ・マリガワ (仏歯寺) を見学。一人 1500 ルピー。

このあと、KCC (キャンディ・コマーシャルセンター) でスマホの SIM を購入。

午後 3 時アラガマの宿舎に到着。ここでは我々が来ることを知ってきちんと準備ができていた。部屋はペンキを塗りなおしてあり、清潔にしてある。



(お隣さんはパールの娘さん)

夕食が来ない。

あきらめていたら、アンビカ先生が子供たちとやってきて、「夕食まだでしょう？」という。

さっそく、インスタント麺を準備してくれた。 おおかた午後 9 時を過ぎていたので、涙がでるほど嬉しかった。

アラガマは予想よりはるかに涼しい。

8月15日(水) 曇り時々雨

ラリタ ラジャシュウェリ マノリ マダビ サマニティ ビノダニ ラジャシュカラ  
このほかに サチニ メニケ

先生は久しぶりに戻ってきた、フランセスさん。

フランセスさんは、私が最初にここに来た時に通訳をしてくれた物静かなカトリック教徒。組紐が初めての生徒にはマノリ、マダビ、ビノダニがそれぞれ教えることにして、ラリタには髪飾りの試作をしてもらうことにする。

キャンディはペラヘラ祭が始まるので、少女たちのうち、そのための仕事をかかえているものがいて、彼女らは昼間機織りをして、夜間に組紐を作るといふ。

ラリタも **Stthree** ショップで売るためのブレスレットを作りたいという。

妻はサチニとメニケたち相手にあやとりを教える。

フランセス先生とラリタはあやとりを上手にできる。

8月16日(木) 曇り時々雨



日の出を見に教室の二階へ上がる階段の踊り場から東の空を見る。

日の出前の東の空。

画面左端はコットンの木。大きな葉が特徴。固い実を割ってなかのアーモンドに似たタネを食べる。



まだ午前7時20分。  
子供たちのいない教室。  
昨日のままの作業台。

壁際に足踏みミシンが並んでいる。  
画面右側が入り口。窓の向こうは障害者  
児童のクラス。



私たちの宿舎。もとはWDCの創始者パ  
ールがここに住んでいた。  
部屋はもとのままの状態、私たちが来  
る前にきれいに掃除がしてある。

宿舎は作業所から目と鼻の先。  
アンビカ先生と子供たちが朝夕に食事  
を運んでくれる。

お昼はセンターでいただく。

時折雨がザーッと降る、不安定な空模様。

ラリタ ラジャシュウェリ タルシ ラジャシュカラ

シンハラ語の勉強

月曜 サンドウダ

火曜 アンドウハルウワダ

水曜 バダダ

木曜 ブラハシグヒンダ

金曜 シクラダ  
土曜 シンナスラダ  
日曜 イリダ

あすから、観光地をまわることにする。

8月17日（金） 曇り

キャンディは雨模様。

午前9時前キャンディ到着。 スーパーマーケットでジンジャークッキー、紅茶、香辛料など購入。

紅茶専門店ですらにお土産の紅茶を購入。

10時過ぎから、KCCの2階でWDCのエキシビションショップの開会式が始まる。皆さんのスピーチがやたら長い。



お茶をいただいたあと、11時半過ぎに最初の目的地シギリヤロックに向かう。

キャンディを離れると雨はやみ、日がさしてきて暑くなる。

ダンブッラで昼食。午後3時シギリヤロックに登る。途中強い風。



外国人の入場料はスリランカルピーで払うととても高い。料金は一人 US\$ 30. スリランカルピーで払うとずいぶん割高になる。

米ドルを持ってくるべきだった。

ロックから降りるまでちょうど2時間。 宿泊地アヌラダプラに向かう。

途中でお持ち帰りのフライドライスと鶏の炒め物、缶ビールを買ってホテル着。

こじんまりした閑静な場所で夫婦で経営している様子。

久しぶりのシャワー。夕食は部屋でとる。 量が多すぎて持て余す。

8月18日(土) 曇り

ホテルの部屋から外を覗くと緑色の鳥が見える。

庭に餌台がこしらえてあるので、野鳥が集まってきている。

動画に収めていたら、パン屋さんの車がやってきた。 驚いた鳥たちはいっせいに飛び立つ。

写真は Rose-Ringed Parakeet

Parakeet はインコ類の総称。

首に赤い輪があるのは確認できない。

このほかに Common Myna (和名 インドハッカ) も見える。



8時ホテルを出発。この日はアヌラダプラの市内を見物。

観光チケットは一人30ドル。

最初に菩提樹を祭るマハボディ。この日はサマボディのお祭りがあって、大勢の人がお参りに来ている。ここを通り抜けてルワンウェリサーヤストゥーパ、トゥパラマヤストゥーパ、サマディ仏、ムーンストーン、ツインポンド、ジェタバナラマヤストゥーパ、イスラムニ寺院 二つの博物館 など有名な遺跡を一通り回って、昼食はライスアンドカレー。 時間があるので、ミヒンタレー遺跡に行くことにする。



(ミヒンタレー遺跡にて 左上山頂にブッダの座像)

ミヒンタレーは仏教伝来の地。岩山を登って、午後 3 時過ぎホテルに戻り、休憩。

午後 5 時半ごろから、夕方の散歩に出かける。

ミリサウエティアストーパから湖畔を散策。そのままルワンウェリサーヤへ歩く。沿道は LED 電飾で派手に飾られている。



(ルワンウェリサヤストーパ)

午後 8 時にホテルに戻り、夕食はフライドライスと炒め物。

8 月 19 日 (日)

午前 8 時出発。玄関でホテルの夫婦と記念撮影。

ダンプゥラ経由で空港へ向かう。

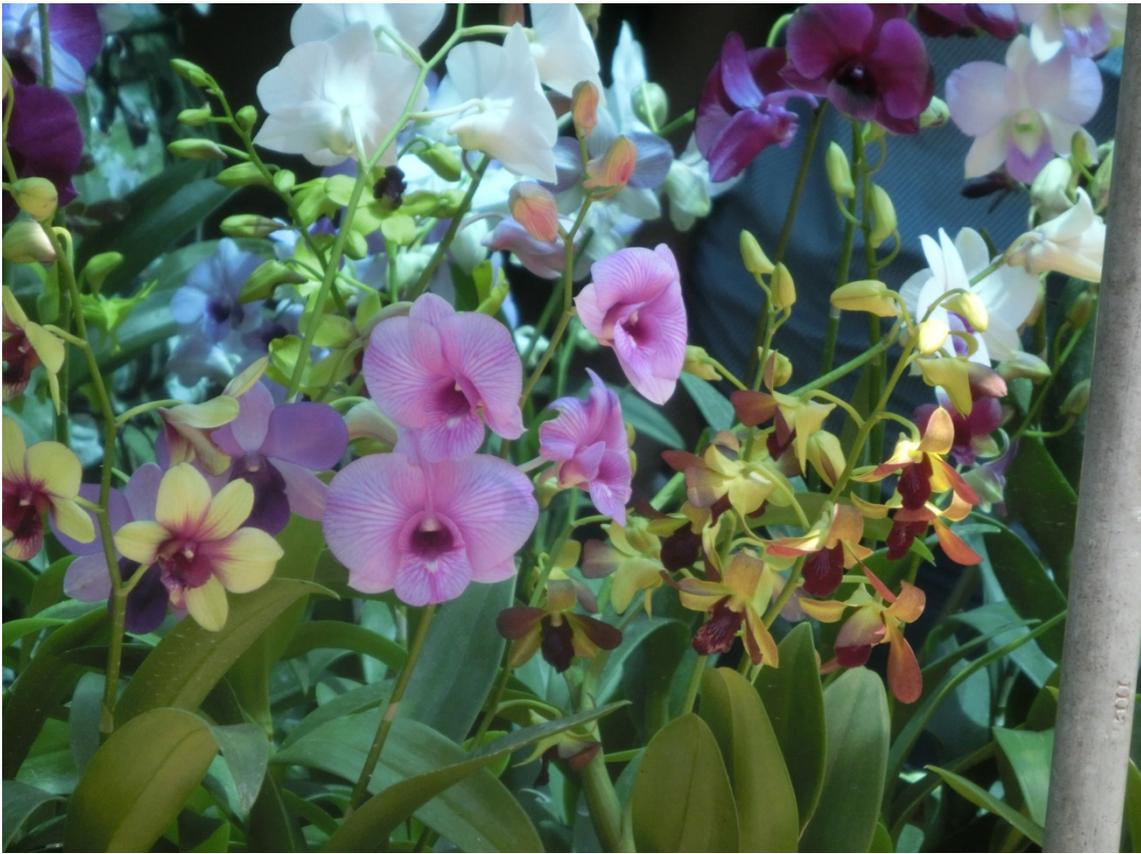
午前 9 時半ダンプゥラ到着。ロック temple に登る。第一窟から第 5 窟まで見学。ここも風が強い。



途中、道端の野菜屋さんを覗く。



スジーフは鮮度が悪いと言って買うのをやめる。 トマト、なす、インゲン、ゴーヤ、さつまいもなど比較的なじみのある野菜が多い。



(スリランカは蘭で有名 空港への途中の店で)

午後 3 時半、空港到着。300 ルピー払って私も中に入る。

出発までの経路は私の記憶がほぼ正しいことを確認。

妻がチェックインできたことを確かめて、空港を後にキャンディへ戻る。

キャンディへ戻る途中の坂道で、ペラヘラのパレードに参加する象を運ぶトレーラーが故障して止まっていて大渋滞。象は歩いていた。あのあとどうなったやら。

午後 9 時 20 分アラガマ到着。途中で買ったフライドライスも量が多い。

8 月 20 日 (月)

ラリタ タルシ マノリ マダビ ビノダニ ラジャシュカラ

マダビとマノリ、ビノダニは織物の大きな注文が入ったらしく、途中で抜ける。

ラリタの作ったブレスレットは KCC のエキシビションで完売したと喜んでいた。また追加で作るらしい。

この日、ラリタとフランセスさんから「カハ・バット」のレシピを教えてもらった。

以下の通り。

材料

コメ 250 g

たまねぎ 2分の1 (50g)  
にんにく 少々  
コショウ (10粒)  
ショウガ ひとかけ  
シナモン ひとかけ  
カレーリーフ (カラピンチャ)  
ラムペ  
カルダモン  
クローブ  
ターメリックパウダー  
バター  
固形スープ  
レーズン、グリーンピース、

#### 作り方

ご飯を炊く

タマネギ、しょうがを刻み、ご飯が炊けたらボウルにいれ、バターを熱くしてたまねぎ、しょうが、その他香辛料を加える。

ご飯に混ぜて、レーズン、グリーンピースなどを添える。

8月21日(火)

ラリタ タルシ ラジャシュウェリ ラジャシュカラ

フランセス先生

庭に餌台を作る。古いすだれが巻いてあったのを広げて真ん中に覗き窓をこしらえる。

鳥が来ても気が付かれないようにこの覗き窓から写真を撮ろうと思う。

ご飯の残りを載せて、しばらく待つが鳥はまだやってこない。



(庭に来た Ceylon Whistling-thrush)

スジーワから土曜日の鉄道の予約ができたと言連絡があった。

授業中の私の役目はもっぱら金具の段取り。できれば半年分を作っておいてやりたい。

夕食の来るのが遅い。午後 8 時 10 分。日本では午後 11 時 40 分などと思ってしまう。

でもおごちそうで、バナナの葉でくるんであった。

パトリシア・コーンウェルの小説が面白くて、12 時過ぎて就寝。

8 月 22 日 (水)

午前 6 時起床。晴れ

午前 8 時前に朝食が来る。

ラリタ ラジャシュカラ ラジャシュウェリ

フランセス先生

昨夜遅かったので眠くなり、午後 8 時半就寝。

8 月 23 日 (木)

午前 6 時起床。晴れ

庭に見たことのない動物が来た。写真を撮る前に逃げてしまったが、あとで聞くとどうやらマンガースであるらしい。



ネットからの写真ですが、こんな感じだった。

ラリタによるとイグアナなどを食べるらしい。(ネコ目)

ラリタ タルシ ラジャシュウェリ ラジャシュカラ ビノダニ  
フランセス先生

**Sthree** ショップで感じたことをラリタとフランセスに話す。

買い物用の小さいバスケットを用意する。

レシート発行の仕組みを考えること。

この話題でしばし盛り上がる。

この先欲しいものをラリタから聞く

ニッケル二重リング

ニッケル革止め金具

プラスチックビーズ 中 大 (腕輪材料)

ポリウレタンコード 2号くらい

プラスチックホック 各色

庭にやってきた鳥。

**Oriental Magpie Robin** (和名 シキチョウ)

午後 8 時半就寝。

8 月 24 日 (金) 曇

6 時起床 停電している。

しばらくして復電。

最後の授業の日。

ラリタ マノリ マダビ ビノダニ ラジャシュカラ タルシ ラジャシュウェリ  
フランセス先生

ラリタが **Thank You** の寄せ書きを作ってくれた。

みんなが作った作品の員数チェック。

ビノダニ 36 イヤリング

ラジャシュカラ 22 イヤリング

マノリ 35 イヤリング

マダビ 12 イヤリング

ラジャシュウエリ 30 ショートストラップ

タルシ 10 ショートストラップ

ラリタ 5 ブレスレット 5 髪飾り

イヤリング 1組 50Rs ショートストラップ 1本 50Rs

ブレスレット 1本 100Rs 髪飾り 1組 100Rs とする。

シロミの解雇理由を聞いて納得。 シェルターは12月完成予定とのこと。

今回、私たちの為に住居をリフォームしてくれたことに感謝を述べる。

8月25日(土) 曇

この日、列車でヌワラエリヤに行く予定。

午前5時起床。 アンビカ先生には6時に出発すると言っておいたので、6時前にお茶を持ってきてくれた。

6時20分、スジワが迎えに来てくれた。 チケットはすでに買ってきており、窓口が混んでいたのもので、キャンディの一つとなりの駅まで行ったと話していた。

チケット代は指定席で1000Rs。 旅行代理店を通すと5倍以上になる。

目的地の駅は「NANU OYA」ヌワラエリヤの駅。列車の終着アッラ(Alle)までは7時間ほどかかるらしい。 .

ナヌオヤまで所要時間は約3時間。 キャンディ駅に早く着いたので、売店でホットドッグ買ってきてくれた。

車窓は曇り空で、風景絶佳とはいかないが、森の中を抜けていくのは気持ちがいい。

列車はやたらと揺れる。 隣の席の子供(3人)がかわるがわるお菓子をくれる。 こちらは何も上げるものがなくて残念。

午前11時前にナヌオヤに到着。 たくさんの人がここで降りる。

スジワの車が駅前に停めてある。 電話すると、駅の周りを歩いてみたらというので、30分ほど散歩する。

駅の向こうには斜面に紅茶畑がずーっと登っており、線路は駅を過ぎると大きく右にカーブしている。 駅から坂道を100mほど登ったところに店が10件以上ならんで駅前商店街の風情をなしている。



(線路の行く手はアッラ方面。ヌワラエリヤにはカンナがいたるところに咲いている)  
お天気は晴れて日がさしているが暑くはない。ここは標高が 1400m ほどあるので、キャンディとは 10 度は気温差がある。

ここでは人も車のんびり動いていて、田舎町の雰囲気。インドハッカと呼ばれる鳥も多く、人を恐れず餌を探している。店先のすずめは日本のものと変わらないように見える。

一見の店先にはスリランカでは珍しく白い大型犬が店先につながれている。大型犬はめったに見ないし、繋がれている犬も珍しい。

ここヌワラエリヤはたくさん花が咲いているが、その中でも目立つのが「カンナ」(canna) ここではキャニスとよぶ。

駅のそばでは琉球アサガオそっくりの花も見かけた。

お昼は前回と同じ、競馬場前のビュッフェでカレー弁当を食べる。1 人前 220Rs。

紅茶農園が経営する展望台に立ち寄っただけで、キャンディにスジークワの車で戻る。

キャンディ市内はメインイベント、最後のナイトペラヘラを前にごった返して大渋滞。

午後 3 時半にアラガマ到着。途中でビールを買いたかったけれど、ペラヘラでお酒は売っていないとのことで、あきらめる。

戻ってきたアラガマは暑い。テレビでは午後 8 時 20 分からペラヘラの実況中継があるらしいが、早起きして眠くて午後 8 時 10 分就寝。

8 月 26 日 (日) 午前 5 時起床。 暗い

午前 6 時 15 分お茶が来る。

午前 7 時 30 分 スジークワが迎えに来る。

車でキャンディに向かう。デイペラヘラのためにどこも駐車場が空いていない。スジークは路上に駐車したが、あとで警察から車の移動を命じられて、どこも停められなかったとぼやいていた。

KCC で WDC のエキシビションの最終日に顔を出し、マノリが店番をしていたので、いくらか彼女の作品を買ってやった。

KCC の屋上でドバトのつがいを写真に撮る。カラスはなかなか撮れない。

地方から出てきたとみられるスリランカ人にバスの乗り場を聞かれるが、教えることができない。

キャンディ湖そばのファストフード屋台で、カトゥーレックとホッパーを食べる。

湖にカワウがいるのを見かけて写真に収める。

妻から小さい象の置物を買って帰るように言われていたので、「ラクサラ」で買い求める。

1150Rs。

前日からスジークがお弁当を用意するから、食事は郊外でしようと言っていたので、買ってくれたお弁当を広げる。バナナの葉で包んだお弁当をおいしくいただく。量も加減してあり、完食。

自宅ですでできたマンゴスチンのみやげに持たせてくれた。

午後 2 時空港到着。

スーツケースの重量が気になったので計測すると、31.3Kg とぎりぎりセーフで一安心。

15 時 30 分チェックイン完了して、ラウンジでくつろぐ。

19 時発 KE 4 7 4 便でインチョン向け出発。

8 月 27 日 (月) 晴

定刻に KE787 便、福岡空港到着。

リュックに入れたマンゴスチンはそのまま税関通過。

空港に妻が出迎えでくれる。午前 10 時 8 分の高速バスで家路につく。

今回のおみやげはジンジャークッキーだけ。